

業務部門の担当者による担当者のための
業務アプリケーションの作り方(その4)

現在在庫の適正化のための 在庫管理ツールの構築

コンテキサー操作演習

コンテキサー チュートリアル(バージョン2.2用)

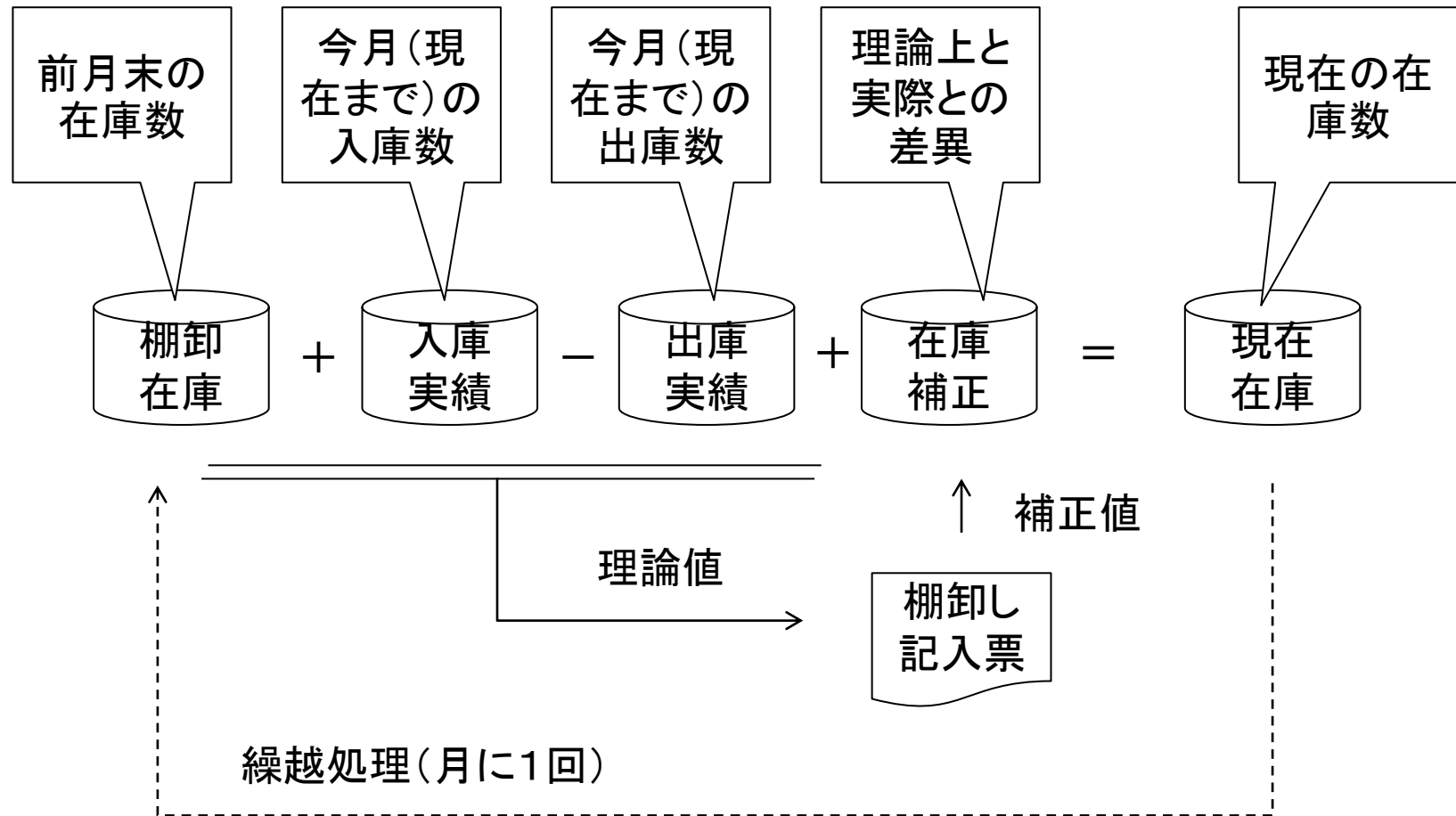
コンテキサーのバージョンは
2.2.12以降で行ってください。

20121113

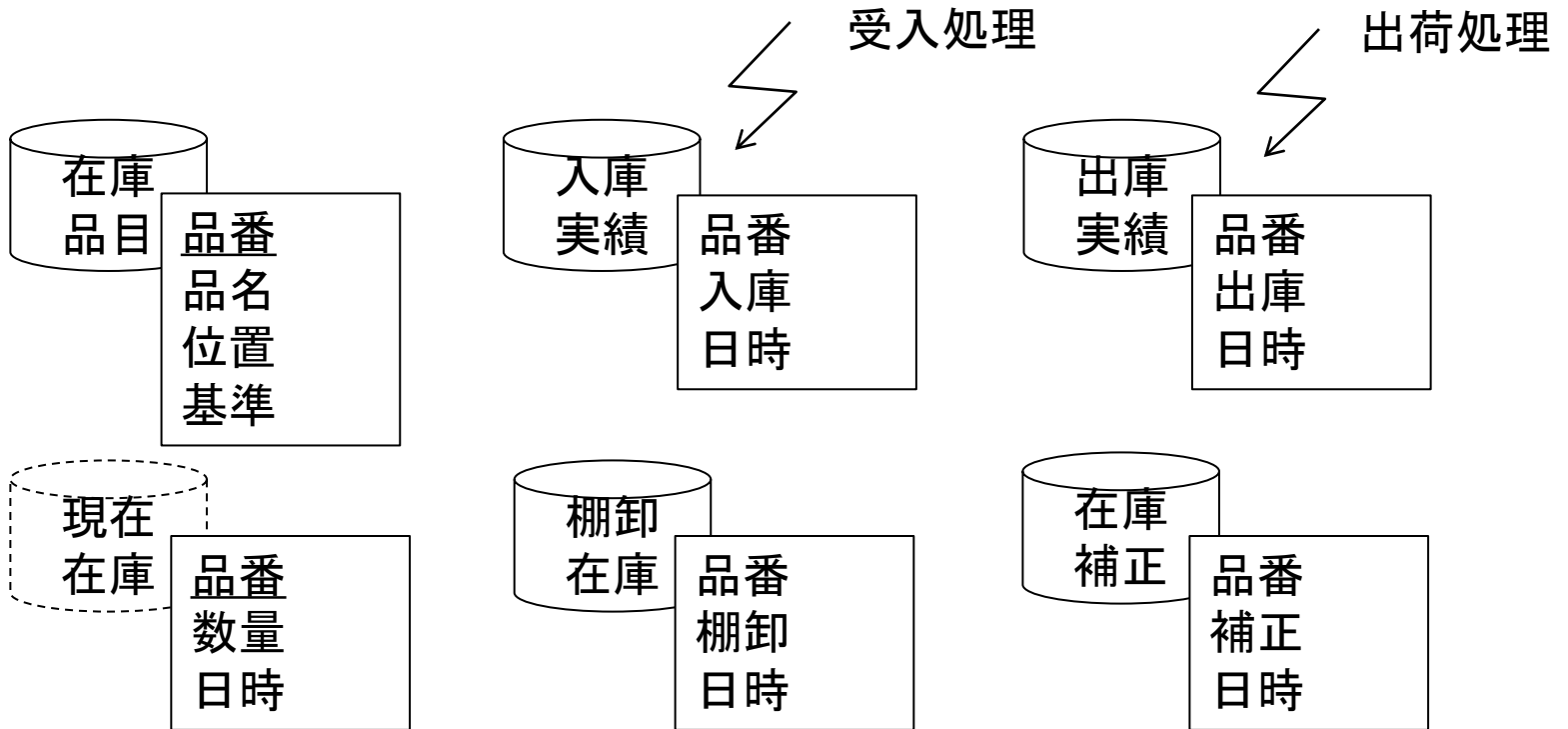
目次

| | |
|---------------------|--------|
| 【ステップ1】在庫棚卸パネルの作成 | --- 9 |
| 【ステップ2】在庫品目パネルの作成 | --- 17 |
| 【ステップ3】入庫実績と出庫実績の作成 | --- 24 |
| 【ステップ4】期首在庫と期末在庫の設定 | --- 30 |
| 【ステップ5】補正入力パネルの作成 | --- 36 |
| 【ステップ6】在庫品目へのデータ転記 | --- 44 |
| 【ステップ7】操作用ボタンを作成 | --- 53 |
| 【付録】出庫実績の登録ツール | --- 61 |

現在在庫を知るにはどうするか？



準備するCSVデータ



製品在庫を管理する場合

→入庫実績(完了した現品票)、出庫実績(出荷伝票)

資材在庫を管理する場合

→入庫実績(完了した仕入伝票または受入伝票)、出庫実績(着手した現品票)

チュートリアル5の倉庫管理の出庫情報でもよい！

用意するCSVの内容

在庫品目.csv - Microsoft Excel

A1

fx

品番

A

B

C

D

E

1

品番

品名

位置

基準値

2

10001

なす

冷蔵庫

10

3

10002

かぼちゃ

冷蔵庫

10

4

10003

きゅうり

冷蔵庫

10

5

6

7

在庫品目

コマンド

100%

A screenshot of a Microsoft Excel spreadsheet. The title bar at the top reads '棚卸在庫...'. The ribbon shows the 'ファイル' (File) tab selected. The formula bar displays 'A1' and 'fx'. The spreadsheet contains a table with three columns: A, B, and C. Column A is labeled '品番' (Item Number) and column B is labeled '日時' (Date/Time). The data rows are as follows:

| | A | B | C |
|---|-------|----|----------------|
| 1 | 品番 | 棚卸 | 日時 |
| 2 | 10001 | 3 | 2012/10/1 0:00 |
| 3 | 10002 | 6 | 2012/10/1 0:00 |

補正入力.csv - M..

ホーム 挿入 ペー 数式 テー 校閲 表

A1 fx 品番

| A | B | C | D |
|-------|----|-----------|---|
| 品番 | 補正 | 日時 | |
| 10001 | 2 | 2012/10/3 | |
| 10002 | -3 | 2012/10/4 | |
| 10003 | 5 | 2012/10/5 | |

入庫実績.csv - M..

ファイル

ホーム

挿入

ページレイアウト

数式

データ

参照

表示

A1

fx

品番

| | A | B | C | |
|---|-------|----|-----------|--|
| 1 | 品番 | 入庫 | 日時 | |
| 2 | 10001 | 20 | 2012/10/3 | |
| 3 | 10001 | 20 | 2012/10/4 | |
| 4 | 10003 | 20 | 2012/10/5 | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |

◀ ◻ ▶▶

入庫実績

コマンド

100%

⊖

ファイル

ホーム

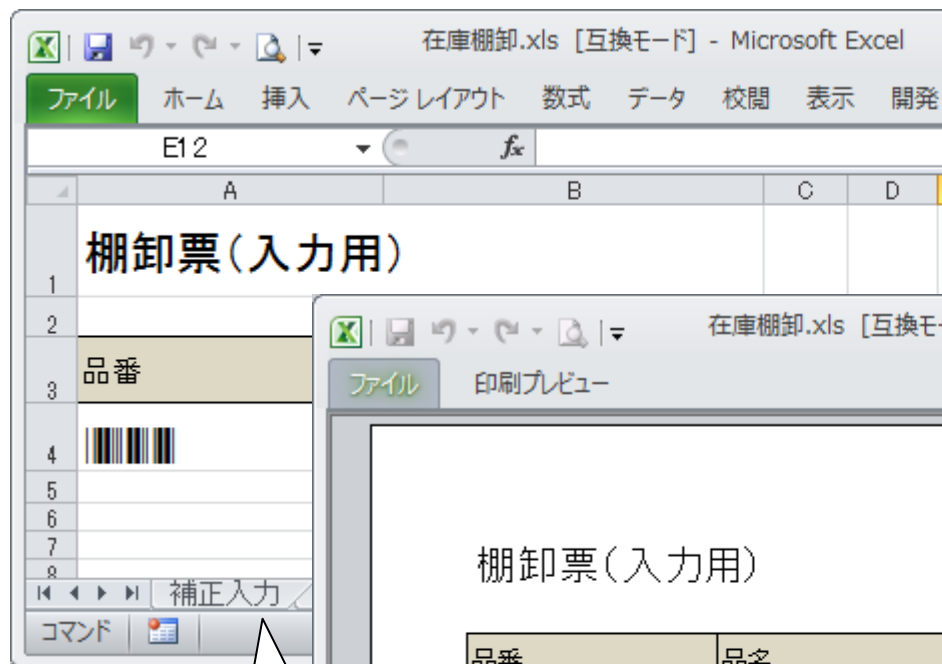
| | A |
|---|----|
| 1 | 品番 |
| 2 | 10 |
| 3 | 10 |
| 4 | 10 |
| 5 | |
| 6 | |

The image shows a Microsoft Excel window with the title bar '出庫実績.csv - M..'. The ribbon is set to 'ホーム' (Home). The spreadsheet contains the following data:

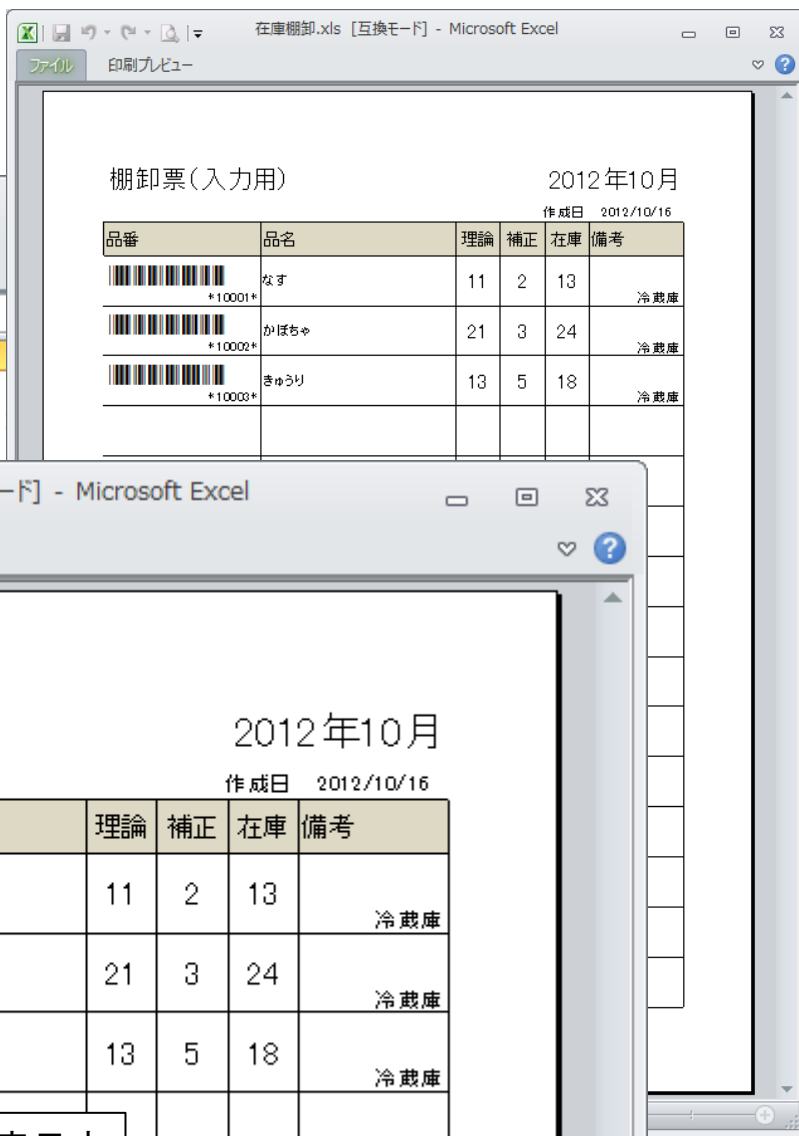
| | A | B | C | D |
|---|-------|----|------------|---|
| 1 | 品番 | 出庫 | 日時 | |
| 2 | 10001 | 12 | 2012/10/10 | |
| 3 | 10002 | 5 | 2012/10/11 | |
| 4 | 10003 | 15 | 2012/10/12 | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |

The status bar at the bottom displays '出庫実績', a small icon, and a zoom level of '100%' with a slider.

棚卸入力票



在庫棚卸.xls



注)バーコードを表示するにはCode39用のフォントが必要です。

在庫管理システム(完成形)

ApstoWeb コンテキサー Ver2.2.12 [在庫棚卸]

ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

CSV保存 帳票印刷 期末処理

在庫棚卸

2012 年 10 月 指定

対象年月を指定できます。

品番はバーコードでも入力可能です。

補正入力

品番 10002 品名 かぼちゃ

日時 2012/10/29 在庫 4 補正 0

切替 取消 確定

在庫品目

| 品番 | 品名 | 位置 | 基準 |
|-------|------|----|----|
| 10001 | なす | 冷蔵 | 10 |
| 10002 | かぼち | 冷蔵 | 10 |
| 10003 | きゅうり | 冷蔵 | 10 |

理論在庫、補正後の在庫を基準値と比較できます。

補正値をここに入力します。

入力した補正値は蓄積され保存されます。

| 品番 | 補正 | 日時 | 品名 | 在庫 |
|-------|----|------------|------|----|
| 10002 | 3 | 2012/10/29 | かぼちゃ | 4 |
| 10003 | 1 | 2012/10/29 | きゅうり | 14 |
| 10002 | 0 | 2012/10/29 | かぼちゃ | 4 |

在庫棚卸 入庫実績 出庫実績 棚卸在庫 期首在庫 期末在庫 現在在庫

3 / 3レコード 照会

ボタンの機能

- CSV保存
 - 現在在庫および補正入力の内容がCSVファイルに保存されます。
- 帳票印刷
 - 補正入力を行うために、現在在庫数が記載された棚卸記入用紙を印刷します。
- 期末処理
 - 現在在庫を期末在庫として保存し、翌月の期首在庫が入力できる状態にします。

ステップ1

在庫棚卸パネルの作成

- ◆ 在庫棚卸パネルを新規に生成し、項目として“年”、“月”、“自”、“至”を追加します。
- ◆ “年”、“月”にデフォルト値を定義し、“自”、“至”には計算式を定義します。
- ◆ 入力フォーム形式で表示項目とボタンなど一部非表示とし、デザインモードでレイアウトを調整します。

在庫棚卸パネルの作成

①パネルバーを
右クリックします。

②パネル追加を
選択します。

③“在庫棚卸”と
入力しOKをク
リックします。

④列タイトルを右クリックし、
項目追加を選択します。

⑤項目名を“年”と、デー
タ型を番号として確認を
クリックします。

⑥“いいえ”を選択します。

⑦列タイトルを右
クリックします。

⑧設定画面を選
択します。

⑨初期値を
“YEAR”とし登録
ボタンをクリック
します。

確認メッセージ

主キーとして登録しますか？

はい(Y) いいえ(N)

項目(月)の追加

①列タイトルを右クリックし、項目追加を選択します。

②項目名を“月”と、データ型を番号として確認をクリックします。

③列タイトル(月)を右クリックします。

④設定画面を選択します。

⑤初期値を“MONTH”とし登録ボタンをクリックします。

項目設定 [月]

登録 規定値 ☐ 主キー

表示名 月

データ型 番号 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット

整列 →○

式

集計方法 合計 ☐ 積算

初期値 MONTH

項目（自）の追加と計算式の設定

①列タイトルを右クリックし、項目追加を選択します。

②項目名を“自”と、データ型を日付時刻として確認をクリックします。

③列タイトル(自)を右クリックします。

④設定画面を選択します。

⑤式を“DATE(年,月,1)”とし登録ボタンをクリックします。

⑥式の右にあるボタンで数式エディタを開き、設定することもできます。

ApstoWeb コンテキサター Ver2.2.12 [在庫棚卸]

ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

在庫棚卸

年 月 自

昇順
降順
フィルタ
グループ
制約解除
隠す

設定画面

項目の定義

項目名 自

データ型 日付時刻

確認

数式エディタ

DATE(年, 月, 1)

項目: 月

年
月

YEAR
MONTH
DAY
HOUR
MINUTE
SECOND
DAYS
HOURS
MINUTES
SECONDS
DATE
TIME
EDATE

項目設定 [自]

登録 規定値 ☐ 主キー

表示名 自

データ型 日付時刻

入力方法 テキスト

フォーマット yyyy/MM/dd

整列 ○←

式 DATE(年, 月, 1)

集計方法 上書き ☐ 積算

初期値

日時 期日

項目(至)の追加と計算式の設定

①列タイトルを右クリックし、項目追加を選択します。

②項目名を“至”と、データ型を日付時刻として確認をクリックします。

③列タイトル(至)を右クリックします。

④設定画面を選択します。

⑤式を“EDATE(自,1)”とし登録ボタンをクリックします。

ApstoWeb コンテキサ Ver2.2.12 [在庫棚卸]

ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

在庫棚卸

年 月 自 至

昇順
降順
フィルタ
グループ
制約解除
隠す
設定画面
項目削除

項目追加

項目の定義

項目名 至

データ型 日付時刻

確認

数式エディタ

EDATE(自,1)

項目:自

年
月
自

YEAR
MONTH
DAY
HOUR
MINUTE
SECOND
DAYS
HOURS
MINUTES
SECONDS
DATE
TIME
EDATE

項目設定 [至]

登録 規定値 ☐ 主キー

表示名 至

データ型 日付時刻 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット yyyy/MM/dd

整列 ☐ ←

式 EDATE(自,1)

計算方法 上書き ☐ 積算

初期値

フォームの入力形式の変更

①管理メニューの“パネル編集”にある“項目詳細設定”を選択します。

②画面構成を“入力”に変更します。

③連続入力のチェックをはずします。

④登録ボタンをクリックします。

Ver2.2.12 [在庫棚卸]

編集(E) 管理(M) 業務

パネル編集(P) ▶

設定ウィザード(W)

シートレイアウト(S)

コマンド定義(O)

メニューの編集(M)

ナビゲーション編集(N)

ライセンス更新(L)

ヘルプ情報(A)

項目一覧設定

項目詳細設定

連携 (限定)

連携 (補助)

連携 (転記)

条件の固定

条件の解除

登録

☒ 登録後に開じる

表示方法

タイトル 在庫棚卸 表示位置 左

シートID 在庫棚卸 文字サイズ 中

画面構成

☒ 入力

☐ 一覧

☐ 複合

機能

☒ 編集許可

☒ 追加許可

☒ 削除許可

画面表示

☒ フィルタ

☐ レコード移動

☐ カウンタ表示

☐ 区分用

初期画面

☐ 編集

☐ 連結編集

☐ 連続入力

☒ 簡易追加

☒ 簡易削除

強調表示設定

Excel連携設定

入力フォームのデザイン

①“自”の入力エリアで右クリックします。

②“非表示”を選択します。

③同様にして“至”についても非表示とします。

④入力フォームの任意の箇所で右クリックし、画面デザインを選択します。

⑤取消、切替のチェックをはずします。

⑥ボタンのチェックを外し、自動配置を解除します。

入力フォームのデザイン(続き)

①確定ボタンを右クリックし、文字変更を選択します。

確定

文字変更

②表示文字を“指定”としてOKをクリックします。

文字を指定してください。

指定

OK

③“年”、“月”のラベルのサイズをマウスで修正します。

⑥作成した入力フォームを確認します。

④上記のように、入力エリア、ボタンなどのレイアウトを変更します。

⑤右上の×ボタンでレイアウトを終了させます。

ステップ2

在庫品目パネルの作成

- ◆ 在庫品目パネルをCSVから作成(品番、品名、位置、基準)し、さらに項目を追加(期首、在庫、出庫、理論、補正、在庫)します。
- ◆ 項目の属性を数値に変更し、“理論”と“在庫”に計算式を設定します。
- ◆ “基準”より“在庫”が小さい場合に表示色を変更するよう定義します。

在庫品目CSVからパネル作成

ApstoWeb コンテキサ Ver2.2.12 [在庫棚卸]

ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

在庫棚卸

パネル追加
パネル追加 (CSVより)
パネル追加 (RDBより)

①パネルバーを右クリックし“パネル追加 (CSVより)”を選択します。

チュートリアル

名前 更新日時 種類 サイズ

| | | | |
|----------|------------------|--------------|-----|
| 棚卸在庫.csv | 2012/10/15 18:15 | Microsoft... | 1 K |
| 補正入力.csv | 2012/10/15 17:40 | Microsoft... | 1 K |
| 出庫実績.csv | 2012/10/14 22:23 | Microsoft... | 1 K |
| 入庫実績.csv | 2012/10/14 22:21 | Microsoft... | 1 K |
| 在庫品目.csv | 2012/10/14 12:04 | Microsoft... | 1 K |

②あらかじめ準備した在庫品目.csvを選択し“開く”ボタンをクリックします。

ファイル名(N): 在庫品目.csv

開く(O) キャンセル

在庫品目の主キーの設定

①列タイトル(品番)を
右クリックし、設定画
面を選択します。

②主キーをチェッ
クし
ます。

③“はい”を選択し登録
ボタンをクリックします。

ApstoWeb コンテキサ Ver2.2.12 [?]

ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管

在庫品目

品番 品名 仕入 仕出

0001 昇順

10002 降順

003 フィルタ

グループ

制約解除

隠す

設定画面

項目削除

項目設定 [品番]

登録 規定値 ☒ 主キー

表示名 品番

データ型 文字列 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット

整列

確認メッセージ

? 名称を主キーを変更します。データはすべて削除されます。
よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

在庫品目の項目の設定

①管理メニューの“パネル編集”のサブメニューの中で“項目一覧設定”を選択します。

②項目として、期首、入庫、出庫、理論、補正、在庫の6つを追加します。

③“基準”のデータ型を数値に変更します。

④“はい”を選択します。

⑤新たに追加した項目のデータ型を数値に変更します。

⑥接続ボタンをクリックします。

⑦“はい”を選択し、その後OKをクリックします。

| 項目名 | 属性名 | 表示 | 編集 | データ型 |
|-----|-----|----|----|------|
| 品番 | 品番 | ✓ | ✓ | 文字列 |
| 品名 | 品名 | ✓ | ✓ | 文字列 |
| 位置 | 位置 | ✓ | ✓ | 文字列 |
| 基準 | 基準 | ✓ | ✓ | 数値 |
| 期首 | | ✓ | ✓ | 数値 |
| 入庫 | | ✓ | ✓ | 数値 |
| 出庫 | | ✓ | ✓ | 数値 |
| 理論 | | ✓ | ✓ | 数値 |
| 補正 | | ✓ | ✓ | 数値 |
| 在庫 | | ✓ | ✓ | 数値 |

確認メッセージ

関連する他のコンテキストのプロパティのデータ型も変更されますよろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

6項目追加しました。

確認メッセージ

項目に対応した属性を追加します (対象6件)。よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

計算式の設定

コンテキスト [在庫品目]

登録 エンティティ: 在庫品目 設定 接続 ☒ 登録後に閉じる

| 在庫品目 | 項目名 | 属性名 | 表示 | 編集 | データ型 | 区分名 |
|------|-----|-----|-------------------------------------|-------------------------------------|------|-----|
| | 品番 | 品番 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 文字列 | |
| | 品名 | 品名 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 文字列 | |
| | 位置 | 位置 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 文字列 | |
| | 基準値 | 基準値 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 期首 | 期首 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 入庫 | 入庫 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 出庫 | 出庫 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 理論 | 理論 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | | |

① “理論” の行ヘッダ部分を右クリックし、設定を選択します。

項目設定 [理論]

登録 規定値

表示名 理論

データ型 数値 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット n0

整列 →○

式 期首 + 入庫 - 出庫

集計方法 合計 ☐ 積算

初期値

② 式として“期首+入庫-出庫”を設定し、登録ボタンをクリックします。

③ “在庫” の行ヘッダ部分を右クリックし、設定を選択します。

項目設定 [在庫]

登録 規定

表示名 在庫

データ型 数値 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット n0

整列 →○

式 理論 + 補正

集計方法 合計 ☐ 積算

初期値

④ 式として“理論+補正”を設定し、登録ボタンをクリックします。

条件による強調表示の設定

2.12 [在庫棚卸]

E) 管理(M) 業務

パネル編集(P) ▶

設定ウィザード(W)

シートレイアウト(S)

コマンド定義(O)

メニューの編集(M)

ナビゲーション編集(N)

ライセンス更新(L)

項目一覧設定

項目詳細設定

連携 (限定)

連携 (補助)

連携 (転記)

条件の固定

条件の解除

強調表示設定

登録 カラー

項目名 値 種別 表示色

在庫 基準 より小さい

登録

登録後に開じる

表示方法

タイトル 在庫品目 表示位置

シートID 在庫棚卸 文字サイズ

画面構成

入力

一覧

複合

機能

編集許可

追加許可

削除許可

画面表示

フィルタ

レコード移動

カウンタ表示

初期画面

編集

連結編集

連続入力

簡易追加

簡易削除

強調表示設定

Excel連携設定

①管理メニューの“パネル編集”のサブメニューの中で“項目詳細設定”を選択します。

②“強調表示設定”をクリックします

③項目名を“在庫”、値を“基準”と記入、種別を“より小さい”とします。

④表示色として、該当する色のボタンをクリックします。

⑤登録ボタンで登録します。

在庫棚卸シートに移動

①パネルバーを
右クリックし、
シート移動を選択
します。

②移動先を“在庫棚卸”
とし確認ボタンを
クリックします。

| 名 | 位置 | 基準 | 期首 | 入庫 | 出庫 | 理論 | 補正 | 在庫 |
|-------|------|----|----|----|----|----|----|----|
| 10008 | きゅうり | 冷蔵 | 10 | | | | | |
| | 冷蔵 | 冷蔵 | 10 | | | | | |
| | 冷蔵 | 冷蔵 | 10 | | | | | |

ステップ3

入庫実績と出庫実績の作成

- ◆ 入庫実績パネル、出庫実績パネルをCSVから作成し、“日付”、“入庫”、“出庫”のデータ型を設定します。
- ◆ 各データの“日付”に対して、在庫棚卸の自、至で限定するように連携(限定)を定義します。

入庫実績のCSVからパネル作成

①パネルバーを
右クリックし、“パ
ネル追加(CS
V)”を選択します。

②あらかじめ用意された“入
庫実績.csv”を選択し、“開く”
をクリックします。

③列タイトル(入庫)を
右クリックし、設定画
面を選択します。

④データ型を数量に
変更し登録ボタンをク
リックします。

ApstoWeb コンテキサー Ver2.2.12 [在庫棚卸]

ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

在庫棚卸

2012 月 10 年 指定

在庫品目

パネル追加
パネル追加 (CSVより)
パネル追加 (RDBより)
パネル複製
パネル複製
パネル削除
シート移動
データ保存
データ保存

ドキュメント

チュートリアル

名前

棚卸在庫.csv
補正入力.csv
出庫実績.csv
入庫実績.csv
在庫 CSV

ApstoWeb コンテキサー Ver2.2.12 [入庫実績]

ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

入庫実績

品番 入庫 日時

10001 20 2012/1
10001 20 2012/1
10001 20 2012/1

昇順
降順
フィルタ
グループ
制約解除
隠す
設定画面
項目削除

項目設定 [入庫]

登録 規定値 ☐ 主キー

表示名 入庫

データ型 数値 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット n0

集計方法 合計 ☐ 積算

初期値

2012
2012/10/
2012/10/
2012/10/14 22:21 Microsoft...
2012/10/14 12:04 Microsoft...

ファイル名(N): 入庫実績.csv

開く(O) キヤ

日時を在庫棚卸の期間で限定

①列タイトル(日時)を右クリックし、設定画面を選択します。

②データ型を日付時刻に変更し登録ボタンをクリックします。

③パネル編集のサブメニューから“連携(限定)”を選択します。

④連携先を“在庫棚卸”とします。

⑤連携キーとして、“日時”を“自”以上、“至”より小さい、とし登録ボタンをクリックします。

出庫実績のCSVからパネル作成

① パネルバーを右クリックし、“パネル追加 (CSV)”を選択します。

② あらかじめ用意された“出庫実績.csv”を選択し、“開く”をクリックします。

③ 列タイトル(出庫)を右クリックし、設定画面を選択します。

④ データ型を数値に変更し登録ボタンをクリックします。

日時を在庫棚卸の期間で限定

①列タイトル(日時)を右クリックし、設定画面を選択します。

②データ型を日付時刻に変更し登録ボタンをクリックします。

③パネル編集のサブメニューから“連携(限定)”を選択します。

④連携先を“在庫棚卸”とします。

⑤連携キーとして、“日時”を“自”以上、“至”より小さい、とし登録ボタンをクリックします。

ステップ3のゴール

The image shows two overlapping windows from the ApstoWeb Ver2.2.12 application. The background window is titled '在庫実績' (Inventory Performance) and the foreground window is titled '出庫実績' (Shipping Performance). Both windows have a menu bar with 'ファイル(E)', '表示(V)', '編集(E)', '管理(M)', '入出力', and '業務'. The '在庫実績' window has a table with columns '品番' (Item No.) and '入庫日時' (In-stock Date/Time). The '出庫実績' window has a table with columns '品番' (Item No.) and '出庫日時' (Shipping Date/Time). Both tables have three rows of data, with the first three rows highlighted by red dashed boxes. Callout boxes point to these rows, stating 'この時点では表示されていません。' (Not displayed at this point).

在庫実績 (Inventory Performance)

| 品番 | 入庫日時 |
|-------|---------------|
| 10001 | 20 2012/10/08 |
| 10001 | 20 2012/10/04 |
| 10003 | 20 2012/10/08 |

この時点では表示されていません。

出庫実績 (Shipping Performance)

| 品番 | 出庫日時 |
|-------|---------------|
| 10001 | 12 2012/10/10 |
| 10002 | 5 2012/10/11 |
| 10003 | 15 2012/10/12 |

この時点では表示されていません。

ステップ4

期首在庫と期末在庫の設定

- ◆ 棚卸在庫パネルをCSVから作成し、データ型を設定します。
- ◆ 期首在庫パネルを棚卸在庫から複製によって作成し、“日付”を在庫棚卸の“自”で限定します。
- ◆ 期末在庫パネルを棚卸在庫から複製によって作成し、“日付”を在庫棚卸の“至”で限定します。
- ◆ 期末在庫の内容を、在庫品目データをマージするように定義します。

棚卸在庫のCSVからパネル作成

① パネルバーを右クリックし、“パネル追加 (CSV)”を選択します。

② あらかじめ用意された“棚卸在庫.csv”を選択し、“開く”をクリックします。

③ 列タイトル(棚卸)を右クリックし、設定画面を選択します。

④ データ型を数値に変更し登録ボタンをクリックします。

⑤ 列タイトル(日時)を右クリックし、設定画面を選択します。

⑥ データ型を日付時刻に変更し登録ボタンをクリックします。

項目設定 [棚卸]

登録 規定値 ☐ 主キー

表示名 棚卸

データ型 数値 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット

集計方法 上書き ☐ 積算

初期値

設定画面

項目削除

項目設定 [日時]

登録 規定値 ☐ 主キー

表示名 日時

データ型 日付時刻 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット yyyy/MM

整列 ☐ 式

集計方法 上書き ☐ 積算

初期値

期首在庫として棚卸在庫を複写

①パネルバーを
右クリックし、“パ
ネル複製”を選択
します。

②コンテキスト名を“期
首在庫”としてOKをク
リックします。

③管理メニューの“パネ
ル編集”にある“連携(限
定)”を選択します。

④連携先を“在庫棚
卸”とします。

⑤連携キーとして、“日時”を“自”
とし登録ボタンをクリックします。

ApstoWeb コンテキサ Ver2.2.12 [棚卸在庫]

ファイル(F) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

棚卸在庫

品番 数 日時

10001 2012.

10002 2012.

パネル追加
パネル追加 (CSVより)
パネル追加 (RDBより)
パネル追加 (WEBより)
パネル複製
パネル複製 (データ分離)
コンテキスト名
期首在庫
OK

2.2.12 [期首在庫]

管理(M) 業務

パネル編集(P)
設定ウィザード(W)
シートレイアウト(S)
コマンド定義(Q)
メニューの編集(M)
ナビゲーション編集(N)
ライセンス更新(L)
ヘルプ情報(A)

項目一覧設定
項目詳細設定
連携(限定)
連携(補助)
連携(転記)
条件の固定
条件の解除
展開(時系列)
展開(クロス)
展開(組合せ)

コンテキスト従属関係 [新規]

登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に閉じる

基本設定 連携キー

期首在庫_限定 連携先 在庫棚卸

☒ 選択レコードでフィルタ
☐ 入力
☐ 未選択

対象コンテキスト 連携先コンテキスト

日時 自

自動設定

期末在庫として棚卸在庫を複写

① 棚卸在庫パネルのパネルバーを右クリックし、“パネル複製”を選択します。

② コンテキスト名を“期末在庫”としてOKをクリックします。

③ 管理メニューの“パネル編集”にある“連携(限定)”を選択します。

④ 連携先を“在庫棚卸”とします。

⑤ 連携キーとして、“日時”を“至”とし登録ボタンをクリックします。

コンテキストから V
表示(V) 編集
数量
3 20
6 20
8 20
パネル追加 (CSVより)
パネル追加 (RDBより)
パネル追加 (WEBより)
パネル複製
パネル複製 (データ分離)
パネル削除
シートの移動
データ保存 (CSV)

2.12 [期末在庫]
管理(M) 業務
パネル編集(P) ▶
設定ウィザード(W)
シートレイアウト(S)
コマンド定義(O)
メニューの編集(M)
ナビゲーション
レイアウト
ヘルプ

項目一覧設定
項目詳細設定
連携(限定)
連携(補助)
連携(転記)
定義
削除
展開(クロス)
展開(組合せ)

コンテキスト名
期末在庫
OK

コンテキスト従属関係 [新規]
登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に閉じる
基本設定 連携キー
期末在庫_限定 連携先 在庫棚卸
☒ 選択レコードでフィルタ ☐ 選択レコードのみ取得
☐ 入力エラーレコードを除外
☐ 未選択レコードを除外

コンテキスト従属関係 [新規]
登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に閉じる
基本設定 連携キー
対象コンテキスト 連携先コンテキスト
日時 至
自動設定

期末在庫の転記を設定する

①管理メニューの“パネル編集”にある“連携(転記)”を選択します。

②連携先を“在庫品目”とします。

③“追加を許可(マージ)”をチェックします。

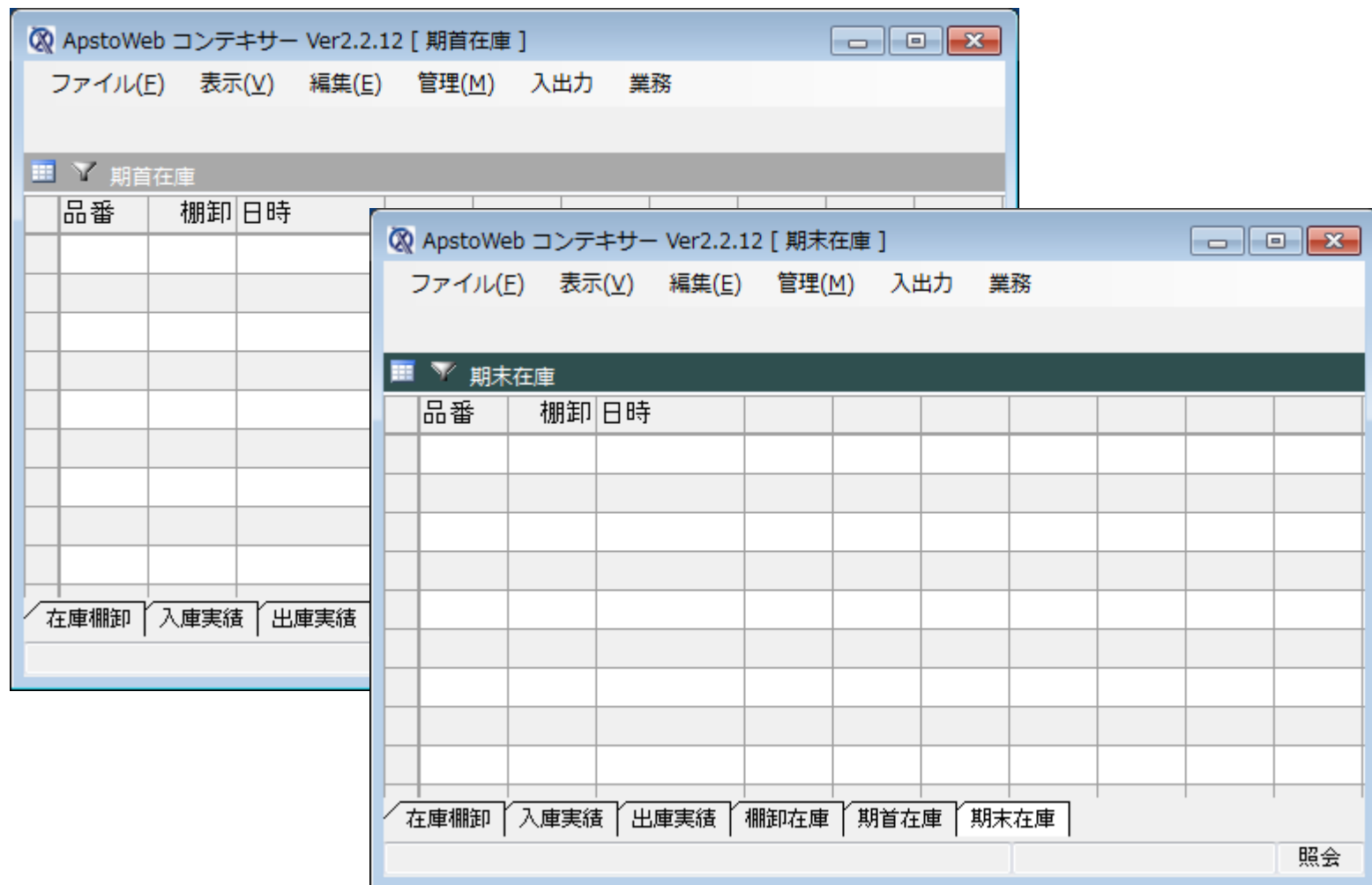
④連携キーをともに“品番”とします。

対象項目を“棚卸”、連結項目を“在庫”とし、登録ボタンをクリックします。

コンテキスト連携 (転記) [新規]

| 対象項目 | 連結項目 | 固定 | 固定値 | 逆向 |
|------|------|----|-----|----|
| 棚卸 | 在庫 | | | |

ステップ4のゴール



ステップ5

補正入力パネルの作成

- ◆ 補正入力パネルをCSVから作成し、データ型や、初期値を設定します。品名、在庫を在庫品目から内部連結によって追加定義します。
- ◆ 在庫棚卸の“自”、“至”によってデータを限定するように連携(限定)を定義します。
- ◆ パネル種類を複合フォームとしてレイアウトします。また、タブの移動を制限します。

補正入力のCSVよりパネル作成

① パネルバーを右クリックし、“パネル追加 (CSVより)”を選択します。

② あらかじめ用意された“補正入力.csv”を選択し、“開く”をクリックします。

③ 列タイトル(補正)を右クリックし、設定画面を選択します。

④ データ型を数値に変更し登録ボタンをクリックします。

⑤ 列タイトル(日時)を右クリックし、設定画面を選択します。

⑥ データ型を日付時刻に変更します。

⑦ 初期値を“NOW”とし、登録ボタンをクリックします。

ApstoWeb コンテキサ Ver2.2.12 [期末在庫]

ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

パネル追加
パネル追加 (CSVより)
パネル追加 (RDBより)
パネル追加 (WEBより)

ドキュメントライブラリ

チュートリアル

名前

棚卸在庫.csv
補正入力.csv
出庫実績.csv
在庫実績.csv

補正入力

補正 日時

昇順
降順
フィルタ
グループ
制約解除
隠す
設定画面
項目削除

項目設定 [補正]

登録 規定値 ☐ 主キー

表示名 補正

データ型 数値 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット

集計方法 上書き ☐ 積算

初期値

項目設定 [日時]

登録 規定値 ☐ 主キー

表示名 日時

データ型 日付時刻 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット yyyy/mm/dd

整列

式

集計方法 上書き ☐ 積算

初期値 NOW

在庫棚卸の期間で限定

2.2.12 [補正入力]

(E) 管理(M) 業務

パネル編集(P)

設定ウィザード(W)

シートレイアウト(S)

項目一覧設定

項目詳細設定

連携 (限定)

連携 (補助)

連携 (転記)

条件の固定

条件の解除

展開 (時系列)

展開 (クロス)

展開 (組合せ)

①管理メニューの“パネル編集”にある“連携(限定)”を選択します。

ライセンス更新(L)

ヘルプ情報(A)

コンテキスト従属関係

登録

新規

②連携先を“在庫棚卸”とします。

基本設定

連携キー

補正入力_限定

連携先

在庫棚卸

無

☒ 選択レコードでフィルタ

☐ 入力フォームでフィルタ

☐ 未選択時は無効化

☐ 該当レコードのみ取得

☐ 該当レコードを除外

☐ ボタン実行

ボタン表示

コンテキスト従属関係 [新規]

登録

新規

削除

基本設定

連携キー

対象コンテキスト

日時

日時

連携先コンテキスト

自

至

以上

小さい

⑤連携キーとして、“日時”を“自”以上、“至”より小さい、とし登録ボタンをクリックします。

自動設定

項目の内部連結の実行

①管理メニューの“パネル編集”のサブメニューの中で“項目一覧設定”を選択します。

②設定ボタンをクリックします。

③連結キーを“品番”、コンテキストを“在庫品目”、項目を“品名”として、“内部連結の実行”ボタンをクリックします。

④確認メッセージで“はい”を選択し、その後のダイアログでOKボタンをクリックします。

⑤連結コンテキストの項目を“在庫”に変更し、“内部連結の実行”をクリックします。

⑥確認メッセージに“はい”、ダイアログでOKをクリックします。

⑦登録ボタンをクリックし、コンテキスト定義画面で再び登録ボタンをクリックします。

| 項目名 | 属性名 | 表示 | 編集 |
|-----|-----|----|----|
| 品番 | 品番 | ✓ | ✓ |
| 補正 | 補正 | ✓ | ✓ |
| 日時 | 日時 | ✓ | ✓ |

外部コンテキスト（在庫品目）と連結した新規の項目を追加

項目を追加しました。（品名）

項目を追加しました。（在庫）

入力フォームの形式を変更

①管理メニューの“パネル編集”にある“項目詳細設定”を選択します。

②表示位置を“上”とします。

③画面構成を“複合”に切り替え、登録ボタンをクリックします。

④フォームの任意の位置で右クリックし、画面デザインを選択します。

コンテキストの属性 [補正入力]

登録 ☒ 登録後に閉じる

表示方法

タイトル 補正入力 表示位置 上

シートID 在庫棚卸 文字サイズ 中

画面構成

☐ 入力

☐ 一覧

☒ 複合

機能

☒ 編集許可

☒ 追加許可

☒ 削除許可

画面表示

☒ フィルタ

☐ レコード移動

☐ カウンタ表示

☐ 区分用

初期値

☐ 編集

☐ 連結編集

☒ 簡易追加

☒ 簡易削除

☒ 連続入力

強調表示設定

Excel連携設定

品番

補正

日時 2012/10/29

品名

在庫

切替 取消 確定

画面デザイン

入力フォームのデザイン

①入力フォームオブジェクトを図のように再配置します。

②レイアウトが完了したら×ボタンをクリックします。

③品名、日時、在庫について、それぞれ右クリックし、タブ移動のチェックをはずします。

④選択するたびに、タブ移動のチェックが切り替わります。

⑤パネルバーを右クリックし、“シート移動”を選択します。

⑥“在庫棚卸”として確認ボタンをクリックします。

メニュー項目: ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

タブ設定: 追加 変更 削除

自動配置: 水平 垂直 ボタン

図形追加: 文字

サイズ: 線幅 文字

カラー: 前景 背景

移動先シート: 在庫棚卸

シート移動

データ保存 (CSV)

データ保存 (WEB)

シートレイアウトの再定義

①管理メニューの“シートレイアウト”を選択します。

②右クリックでメニューを選択し、レイアウトをこの図のように変更します。

③図の番号とパネルIDの対応を確認し、必要に応じて上下に移動します。

④登録ボタンをクリックします。

シート設定 [在庫棚卸]

登録 新規 削除 登録後に閉じる

期首在庫 期末在庫 在庫棚卸

タイトル 在庫棚卸 メニュー 業務

説明文

未割り付けパネル

↓追 ↑削

| 番号 | パネルID | 横幅 | 高さ |
|----|-------|-----|-----|
| 1 | 在庫棚卸 | 698 | 95 |
| 2 | 在庫品目 | 698 | 122 |
| 3 | 補正入力 | 698 | 230 |

☑ タブを表示する ☐ 初期画面 ☐ 固定 切替ボタン

連携(補助)の設定

①あらかじめ補正入力をクリックし強調表示させておきます。

②“パネル選択”のサブメニューである“連携(補助)”を選択します。

③連携先として“在庫品目”を選択します。

④“補正”、“品名”および“在庫”の行を右クリックし、削除を選択します。

⑤項目を“品番”のみのこし、登録ボタンをクリックします。

| 項目名 | コピー元 | 固定 | 固定値 | フォーマット |
|-----|------|--------------------------|-----|--------|
| 品番 | 品番 | <input type="checkbox"/> | | |
| 補正 | 補正 | <input type="checkbox"/> | | |
| 品名 | 品名 | <input type="checkbox"/> | | |
| 在庫 | 在庫 | <input type="checkbox"/> | | |

ステップ6

在庫品目へのデータ転記

- ◆ 在庫品目の“入庫”、“出庫”、“期首”、“補正”を入庫実績、出庫実績、期首在庫、補正入力からそれぞれ転記するよう定義します。
- ◆ コマンドにより、転記の実行タイミングを、年月の指定時および補正入力時に設定します。
- ◆ 現在在庫を、在庫品目を複写することで生成するように定義し、不要な項目を削除します。

入庫実績の集計

①あらかじめ“在庫品目”をクリックし強調表示させておきます。

②管理メニューの“パネル編集”にある“連携(転記)”を選択します。

④名称を“在庫品目_入庫”とします。

⑤“複数の場合は集計する”および“更新時に初期化する”をチェックします。

③連携先を“入庫実績”とします。

⑦連結内容を“入庫”とし登録ボタンをクリックします。

⑥連携キーをともに“品番”とします。

The screenshot displays the APSOM system interface for setting up context linkage (連携(転記)).

- Menu:** The '連携(転記)' (Linkage/Transfer) option is selected under the 'パネル編集' (Panel Edit) section.
- Inventory Table:** A table titled '在庫品目' (Inventory Item) is shown with columns: 品番 (Item No.), 品名 (Item Name), 位置 (Location), 基準 (Standard), and 期 (Period). The first row shows '10001' for 'なす' (Eggplant) at '冷蔵' (Refrigerated) with a standard of '10'.
- Context Linkage Setup Dialog:**
 - 基本設定 (Basic Settings):** The name is set to '在庫品目_入庫' (Inventory Item_Incoming). The linkage target is '入庫実績' (Incoming Actuals). Checkboxes for '複数の場合は集計する' (Aggregate in multiple cases) and '更新時に初期化する' (Initialize at update) are checked.
 - 連携キー (Linkage Key):** Both '連携先コンテキスト' (Target Context) and '対象コンテキスト' (Object Context) are set to '品番' (Item No.).
 - 転記内容 (Transfer Content):** The linkage content is set to '入庫' (Incoming).

出庫実績の集計

①管理メニューの“パネル編集”にある“連携(転記)”を選択します。

②新規ボタンをクリックします。

④名称を“在庫品目_出庫”とします。

③連携先を“出庫実績”とします。

⑤“複数の場合は集計する”および“更新時に初期化する”をチェックします。

⑥連携キーをともに“品番”とします。

⑦連結内容を“出庫”とし登録ボタンをクリックします。

コンテキスト連携 (転記) [新規]

登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に閉じる

基本設定 連携キー 転記内容

名称: 在庫品目_出庫

連携先: 出庫実績

☒ 複数の場合は集計する

☒ 更新時に初期化する

コンテキスト連携 (転記) [新規]

登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に閉じる

基本設定 連携キー 転記内容

連携先コンテキスト: 品番

対象コンテキスト: 品番

コンテキスト連携 (転記) 2/2

登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に閉じる

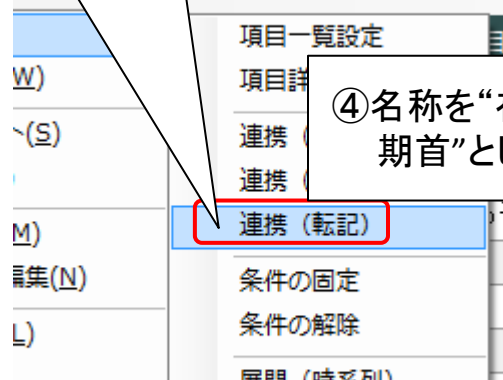
基本設定 連携キー 転記内容

| 対象項目 | 連結項目 | 固定 | 固定値 | 逆向 |
|------|------|----|-----|----|
| 出庫 | 出庫 | | | |

生成

期首在庫の集計

②管理メニューの“パネル編集”にある“連携(転記)”を選択します。



④名称を“在庫品目_期首”とします。

コンテキスト連携 (転記) [新規]

登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に開じる

基本設定 連携キー 転記内容

在庫品目_期首 連携先 期首在庫

☐ 複数の場合は集計する ☐ 変更時実行 (VLOOKUP)

☐ 更新時に初期化する ☐ 追加を許可 (VLOOKUP)

☐ 選択行のみ対象とする ボタン ☐

☐ 転記元は全データとする ボタン表示 ☐

③連携先を“期首在庫”とします。

コンテキスト連携 (転記) [新規]

登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に開じる

基本設定 連携キー 転記内容

連携先コンテキスト 対象コンテキスト

品番 品番

自動設定

⑤連携キーをともに“品番”とします。

コンテキスト連携 (転記) [新規]

登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に開じる

基本設定 連携キー 転記内容

| 対象項目 | 連結項目 | 固定 | 固定値 | 逆向 |
|------|------|----|-----|----|
| 期首 | 棚卸 | | | |

生成

⑥連結内容を“期首”および“棚卸”とし登録ボタンをクリックします。

補正入力集計

①管理メニューの“パネル編集”にある“連携(転記)”を選択します。

②新規ボタンをクリックします。

③連携先を“補正入力”とします。

④名称を“在庫品目_補正”とします。

⑤“複数の場合は集計する”および“更新時に初期化する”をチェックします。

⑥連携キーをともに“品番”とします。

⑦連結内容を“補正”とし登録ボタンをクリックします。

コンテキスト連携 (転記) [新規]

登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に閉じる

基本設定 連携キー 転記内容

在庫品目_補正 連携先 補正入力

☒ 複数の場合は集計する
☒ 更新時に初期化する
☐ 選択行のみ対象とする
☐ 一括データとする

☐ 変更時実行 (KUP)
☐ 追加
ボタン
ボタン表

コンテキスト連携 (転記) [新規]

登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に閉じる

基本設定 連携キー 転記内容

連携先コンテキスト 対象コンテキスト

品番 品番

自動設定

コンテキスト連携 (転記) [新規]

登録 新規 削除 次へ ☒ 登録後に閉じる

基本設定 連携キー 転記内容

| 対象項目 | 連結項目 | 固定 | 固定値 | 逆向 |
|------|------|--------------------------|-----|--------------------------|
| # 補正 | 補正 | <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> |

生成

転記実行のためのコマンド定義

①あらかじめ“在庫棚卸”をクリックし強調表示させておきます。

②管理メニューの“コマンド定義”を選択します。

③アクション種別を“連携(転記)”とし、指定内容の列をクリックします。

④連携(転記)名を“在庫品目_入庫”とし、登録ボタンをクリックします。

⑤同様に、出庫、期首、補正について定義します。

⑥実行タイミングを“入力後”とし、パネルが“在庫棚卸”であることを確認し登録ボタンをクリックします。

⑦コマンド名を確認しOKをクリックします。

コマンド定義画面 [新規]

登録 新規 複製 削除 ☒ 登録後に閉じる

シート 在庫棚卸

パネル 在庫棚卸

説明

実行するタイミング 入力後

ボタン位置

コマンド名 在庫棚卸_連携(転記) OK

連携(転記)名 在庫品目_入庫

対象コンテキスト

連携コンテキスト

定義内容 登録

| アクション種別 | 指定内容 | 引数1 | 引数2 | 引数3 |
|---------|---------|------|------|-----|
| 連携(転記) | 在庫品目_入庫 | 在庫品目 | 入庫実績 | |
| 連携(転記) | 在庫品目_出庫 | 在庫品目 | 出庫実績 | |
| 連携(転記) | 在庫品目_期首 | 在庫品目 | 期首在庫 | |
| 連携(転記) | 在庫品目_補正 | 在庫品目 | 補正入力 | |

補正入力後の実行の指定

①管理メニューの“コマンド定義”を選択します。

②新規ボタンをクリックします。

③アクション種別を“連携(転記)”とし、指定内容の列をクリックします。

④連携(転記)名を“在庫品目_補正”とし、登録ボタンをクリックします。

⑤実行タイミグを“入力後”とします。

⑥パネルを“補正入力”とし、登録ボタンをクリックします。

⑦コマンド名を確認しOKをクリックします。

| アクション種別 | 指定内容 | 引数1 | 引数2 |
|---------|---------|------|-----|
| 連携(転記) | 在庫品目_補正 | 在庫品目 | 補正 |

| コマンド名 |
|-------------|
| 在庫棚卸_連携(転記) |

現在在庫を複製により作成

① パネルバーを右クリックし、“パネル複製(データ分離)”を選択します。

② 毎回更新するように“はい”を選択します。

③ コンテキスト名を“現在在庫”とし、OKをクリックします。

④ 列タイトル(位置)を右クリックし、項目削除を選択します。

⑤ 確認メッセージで“はい”を選択します。

⑥ 同様にして、基準、期首、入庫、出庫、理論、補正について項目削除します。

コンテキスト名: 現在在庫 OK

確認メッセージ: 内容を毎回更新しますか? はい(Y) いいえ(N)

確認メッセージ: 項目を削除しますよろしいですか? はい(Y) いいえ(N)

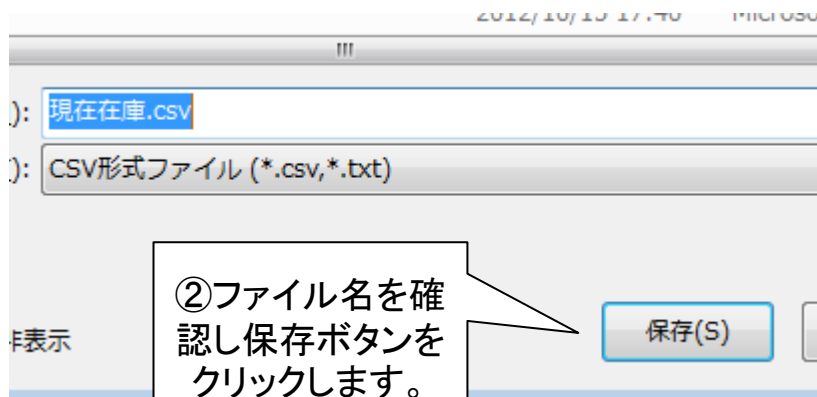
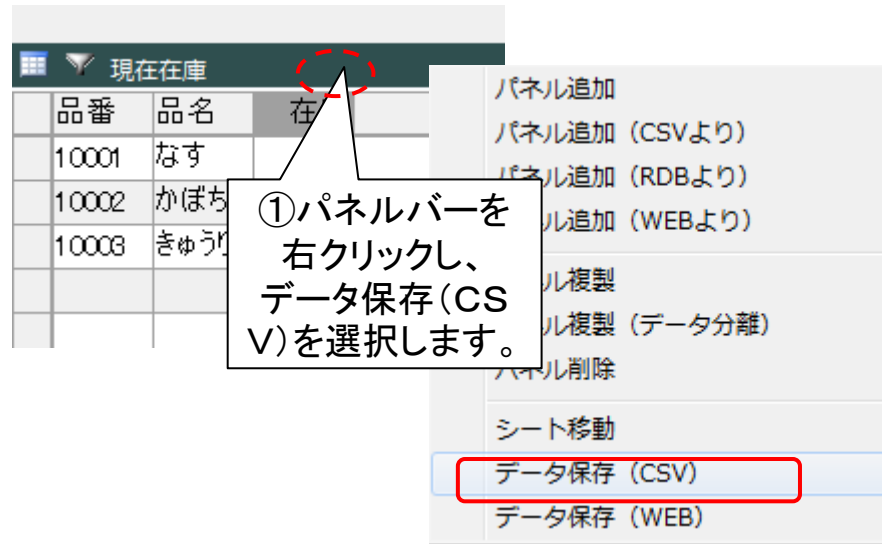
現在在庫

| 品番 | 品名 | 位置 | 基準 | 期首 | 入庫 | 出庫 | 理論 |
|-------|------|----|----|----|----|----|----|
| 10001 | なす | 冷蔵 | | 10 | 40 | 12 | |
| 10002 | かぼち | 冷蔵 | | | 5 | | |
| 10003 | きゅうり | 冷蔵 | | | 15 | | |

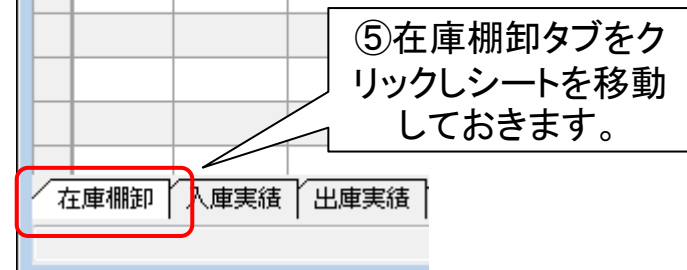
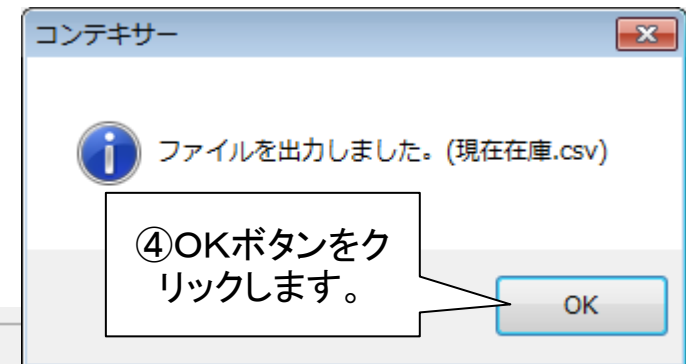
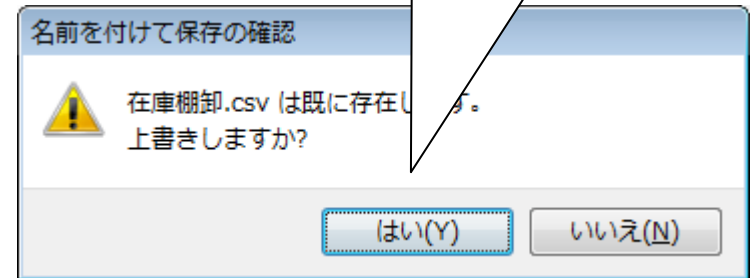
現在在庫

| 品番 | 品名 | 基準 | 期首 | 入庫 | 出庫 | 理論 |
|-------|------|----|----|----|----|----|
| 10001 | なす | | 10 | 40 | 12 | |
| 10002 | かぼち | | | 5 | | |
| 10003 | きゅうり | | | 15 | | |

現在在庫の保存



③もしすでにファイルが存在する場合は、確認メッセージに対して“はい”を選択します。



ステップ7

操作ボタンを作成

- ◆ 在庫品目の内容を期末在庫に転記し、それを保存する期末処理ボタンを作成します。
- ◆ 在庫管理シートをExcel連携させ、在庫棚卸のための帳票を印刷するボタンを作成します。
- ◆ 現在在庫、補正入力の内容をCSVに保存するCSV保存ボタンを作成します。

期末処理ボタンの設定

①管理メニューの“コマンド定義”を選択します。

②新規ボタンをクリックします。

③連携(転記)を選択します。

④連携名として“期末在庫_転記”を選択し登録ボタンをクリックします。

⑤“データ出力”を選択します。

⑥出力用コンテキストを棚卸在庫_csvとし、登録ボタンをクリックします。

⑦ボタンの表示名を“期末処理”とし、登録ボタンをクリックします。

⑧OKをクリックします。

コマンド定義画面 [新規]

登録 新規

管理メニュー

パネル編集(P)
設定ウィザード(W)
シートレイアウト(S)
コマンド定義(O)
メニューの編集(M)
ナビゲーション編集(N)

シート 在庫棚卸
パネル 在庫棚卸
説明

連携(転記)

説明
連携(転記)の
連携コンテキ

連携(転記)名 期末在庫_転記
対象コンテキスト
連携コンテキスト

定義内容 登録

コマンド定義画面 [新規]

登録 新規 複製 削除

在庫棚卸 連携(転記)

シート 在庫棚卸
パネル 在庫棚卸
説明

表示名 期末処理

実行するタイミング
ボタン

コマンド名
在庫棚卸 連携(転記)
OK

| アクション種別 | 指定内容 | 引数1 | 引数2 |
|---------|---------|------|------|
| 連携(転記) | 期末在庫_転 | 期末在庫 | 在庫品目 |
| データ出力 | 棚卸在庫_cs | | |

アクションの内容

データ出力

説明
入出力用コンテキストの定義内容にしたがって、
外部データを読み込みます。

出力用コンテキスト 棚卸在庫_csv

登録

Excel出力方法の指定

The screenshot shows the ApstoWeb interface with several callouts explaining the steps to specify the Excel output method:

- ① あらかじめ“在庫棚卸”をクリックし強調表示させておきます。
Click the "在庫棚卸" (Inventory Disposal) button in the top menu bar to highlight it.
- ② 管理メニューの“パネル編集”にある“項目詳細設定”を選択します。
Select "項目詳細設定" (Item Detail Settings) from the "パネル編集" (Panel Edit) menu.
- ③ “Excel連携設定”をクリックします。
Click the "Excel連携設定" (Excel Link Settings) button at the bottom right.
- ④ “選択された行のみ出力する”をチェックし、登録ボタンをクリックします。
Check the "選択された行のみ出力する" (Output only selected rows) checkbox and click the "登録" (Register) button.
- ⑤ 登録ボタンをクリックします。
Click the "登録" (Register) button in the "コンテキストの属性" (Context Properties) dialog.

The "Excel連携設定" dialog box shows the following options:

- ☐ 非表示列を出力する
- ☐ 区分データの表示名を出力する
- ☒ 選択された行のみ出力する

The "コンテキストの属性" dialog box shows the "登録" button highlighted.

棚卸用の帳票印刷ボタン

①管理メニューの“コマンド定義”を選択します。

②新規ボタンをクリックします。

③アクション種別を“印刷出力”とし、指定内容の列をクリックします。

④対象シートを“在庫棚卸”とします。

⑤ボタンの表示名を“帳票印刷”とし、登録ボタンをクリックします。

⑥OKボタンをクリックします。

コマンド定義画面 [新規]

登録 新規 複製

シート 在庫棚卸

パネル 在庫棚卸

説明

現在シート ☒ 実行するタイミング ボタン

ボタン位置 ボタン

アクション種別 印刷出力

指定内容

引数1

引数2

引数3

アクションの内容

印刷出力

対象シート 在庫棚卸

ファイル名*

親コンテキスト*

親コンテキストを指定すると連続印刷を行います。

登録

コマンド名 在庫棚卸 印刷出力

OK

在庫棚卸シートの設定

①Windowsメニューのコンテキサーにある“データフォルダを開く”をクリックします。

②フォルダにexcelフォルダがあることを確認します。ない場合は作成します。

③あらかじめ用意した“在庫棚卸.xls”をドラッグするかまたはコピーします。

④excelフォルダにドロップまたは貼り付けます。

| 名前 | 更新日時 | 種類 |
|--------------|------------------|-------|
| excel | 2012/10/28 17:05 | ファイル |
| Contexer.ini | 2012/10/25 14:39 | 構成設定 |
| license.txt | 2012/10/03 9:20 | テキストド |

CSV保存ボタン

①管理メニューの“コマンド定義”を選択します。

②新規ボタンをクリックします。

③アクション種別を“連携(転記)”とし、指定内容の列をクリックします。

④連携名を“現在在庫_在庫品目_merge”とし、登録ボタンをクリックします。

⑤アクション種別を“データ出力”とし、指定内容の列をクリックします。

⑥出力用コンテキストを“現在在庫_csv”とし、登録ボタンをクリックします。

⑦同様に、アクション種別を設定し、出力用コンテキストを“補正入力_csv”として登録ボタンをクリックします。

⑧ボタン表示名を“CSV保存”とし登録ボタンをクリックします。

⑨OKボタンをクリックします。

データ入力テスト

①必要に応じて年、月を変更し、指定ボタンをクリックします。

②品番を入力すると、品名、在庫が表示されます。

③補正を入力し確定ボタンをクリックするとデータが反映されます。

④ダブルクリックすると該当データが入力域に設定されます。

ApstoWeb コンテキサー Ver2.2.12 [在庫棚卸]

ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

CSV保存 帳票印刷 期末処理

在庫棚卸

2012 年 10 月 指定

補正入力

品番 10001 品名 なす

日時 2012/10/29 在庫 31 補正

切替 取消 確定

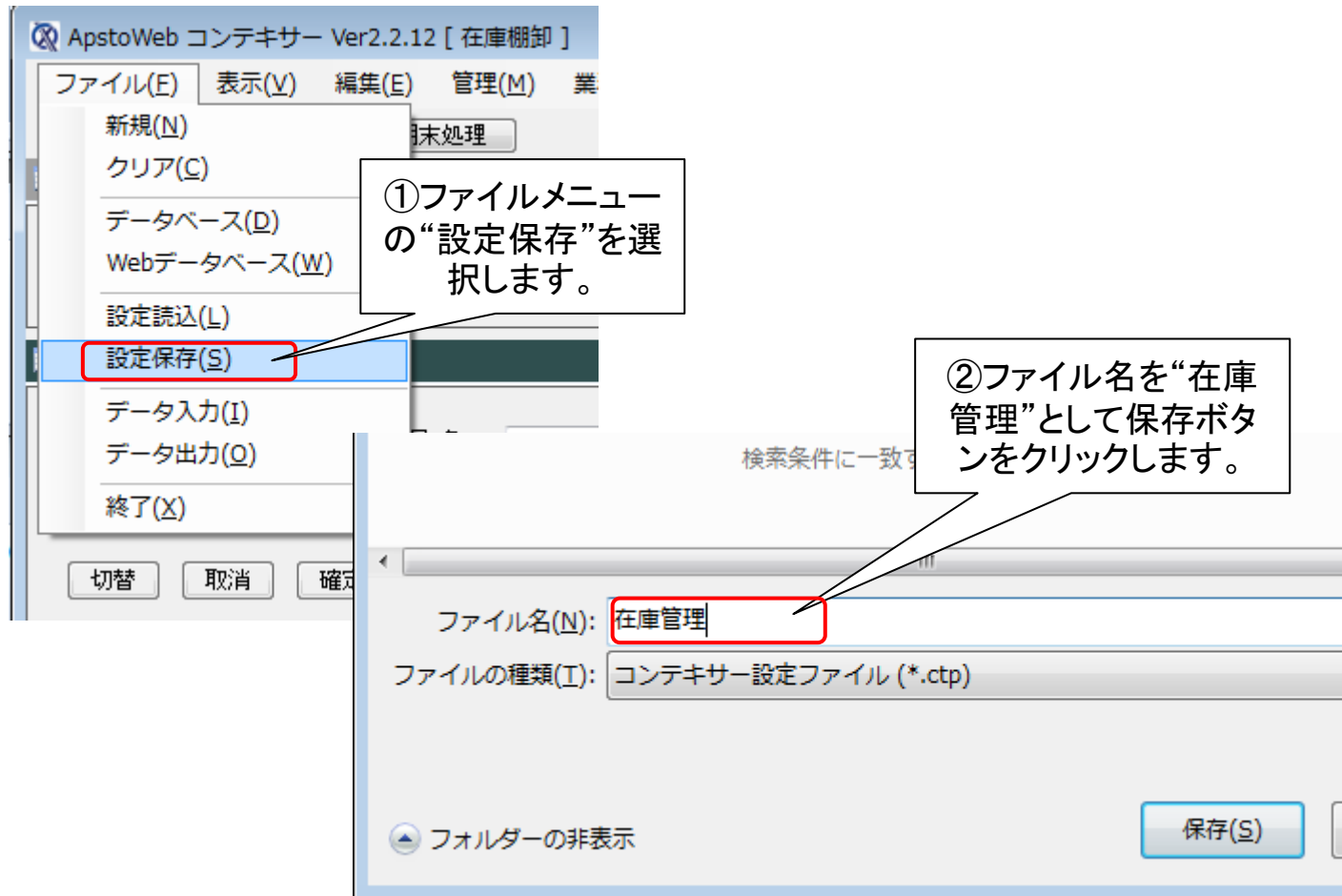
| 品番 | 補正 | 日時 | 品名 | 在庫 |
|-------|----|-------|------|----|
| 10002 | 3 | 2012/ | かぼち | 4 |
| 10003 | 1 | 2012/ | きゅうり | 14 |
| 10002 | 0 | 2012/ | かぼち | 4 |

| 品番 | 品名 | 基準 |
|-------|------|-------|
| 10001 | なす | 冷蔵 10 |
| 10002 | かぼち | 冷蔵 10 |
| 10003 | きゅうり | 冷蔵 10 |

在庫棚卸 入庫実績 出庫実績 棚卸在庫 期首在庫 期末在庫 現在在庫

3レコード 照会

保存と終了



付録

出庫実績の登録ツール

- ◆ 出荷実績パネル、在庫品目パネルをCSVから作成し、データ型を設定します。出荷実績に“品名”を内部連結で追加します。
- ◆ 出荷実績パネルのレイアウトを複合とし、文字サイズ、タブ移動などをデザインします。
- ◆ コマンドで出荷実績のCSVの保存を定義し、終了時に自動保存するように設定します。

出庫実績のCSVからパネル作成

①パネルバーを右クリックし“パネル追加 (CSVより)”を選択します。

②あらかじめ用意された“出庫実績.csv”を選択し、“開く”をクリックします。

③列タイトル(出庫)を右クリックし、設定画面を選択します。

④データ型を数値に変更します。

⑤初期値を1とし、登録ボタンをクリックします。

ApstoWeb コンテキサ Ver2.2.12

ファイル(F) 表示(V) 編集(E) 管理(M)

パネル追加
パネル追加 (CSVより)
パネル追加 (RDBより)
パネル追加 (WEBより)

出庫実績

品番 出庫
1000 12
2 5
5

昇順
降順
フィルタ
グループ
制約解除
隠す
設定画面
項目削除

項目設定 [出庫]

登録 規定値 ☐ 主キー

表示名 出庫

データ型 数値 ☐ 追番

方法 テキスト

集計方法 合計 ☐ 積算

初期値 1

開く(O)

項目(日付)の詳細定義

コンテキサ Ver2.2.12 [出庫実績]

表示(V) 編集(E)

①列タイトル(日時)を
右クリックし、設定画
面を選択します。

日時

昇順
降順
フィルタ
グループ
制約解除
隠す

設定画面
項目削除

項目設定 [日時]

登録 規定値 ☐ 主キー

表示名 日時

データ型 日付時刻 ☐ 追番

入力方法 テキスト

フォーマット yyyy/MM/dd HH:mm:ss

整列 ☐ ←

式

集計方法 上書き ☐ 積算

初期値 NOW

②データ型を日付時
刻に変更し登録ボタ
ンをクリックします。

③フォーマット
を"yyyy/MM/dd
HH:mm:ss"とします。

④初期値を"NOW"
として、登録ボタンをク
リックします。

在庫品目をCSVから生成

① パネルバーを右クリックし“パネル追加 (CSVより)”を選択します。

② あらかじめ準備した在庫品目.csvを選択し“開く”ボタンをクリックします。

③ 列タイトル(品番)を右クリックし、設定画面を選択します。

④ 主キーをチェックします。

⑤ “はい”を選択し、登録ボタンをクリックします。

⑥ 出庫実績のタブを選択しシートを切り替えます。

項目設定 [品番]

登録 規定値 ☒ 主キー

表示名 品番

データ型 文字

追番

式

集計方法 上書き

初期値

設定画面

項目削除

新しいフォルダー

ドキュメント ライブラリ

チュートリアル

名前

棚卸在庫.csv

補正入力.csv

出庫実績.csv

入庫実績.csv

在庫品目.csv

ファイル名(N): 在庫品目.csv

開く(O)

キャンセル

はい(Y) いいえ(N)

名称を主キーを変更します。データはすべて削除されます。よろしいですか？

在庫品目の“品目”を内部連結

①管理メニューの“パネル編集”にある“項目一覧設定”を選択します。

②設定ボタンをクリックします。

③連結キーを“品番”、コンテキストを“在庫品目”、連結する項目を“品名”とし、“内部連結の実行”をクリックします。

④確認メッセージに対して“はい”を選択し、OKボタンをクリックします。

コンテキスト [在庫実績]

| 項目名 | 属性名 | 表示 | 編集 | データ型 | 区分名 |
|-----|-----|----|----|------|-----|
| 品番 | 品番 | ✓ | ✓ | 文字列 | |
| 出庫 | 出庫 | ✓ | ✓ | 番号 | |
| | | ✓ | ✓ | 日付時刻 | |

エンティティ設定画面

自動採番
カウンタ 5 形式

内部連結
対象コンテキストの連結キー 品番
連結するコンテキスト 在庫品目
連結コンテキストの項目 品名

内部連結の実行 登録

確認メッセージ
外部コンテキスト (在庫品目) と連結した新規の項目を追加します。

項目を追加しました。(品名)

はい(Y) いいえ(N)

OK

入力フォームの形式を変更

①管理メニューの“パネル編集”にある“項目詳細設定”を選択します。

②画面構成を“複合”に変更します。

③表示位置を“上”、文字サイズを“特大”とし、登録ボタンをクリックします。

④“日時”の入力域で右クリックし、メニューを表示させます。

⑤“タブ移動”のチェックをはずします。

⑥“品名”の入力域で右クリックし、同様にタブ移動のチェックをはずします。

項目一覧設定
項目詳細設定
連携（限定）
連携（補助）
連携
条件
条件
展開（時系列）

表示方法
タイトル 出庫実績
シートID 出庫実績
表示位置 上
文字サイズ 特大

画面構成
☐ 入力
☐ 一覧
☒ 複合

機能
☒ 編集許可
☒ 追加許可
☒ 削除許可

画面表示
☒ フィルタ
☐ レコード移動
☐ カウンタ表示

初期画面
☐ 編集

強調表示設定
Excel連携設定

日時
品名
切替
確定

値削除
非表示
☒ 項目名表示
☒ タブ移動
連続入力
入力チェック
設定画面
項目削除

入力フォームの文字サイズ変更

①入力フォームの任意の位置を右クリックし、“画面デザイン”を選択します。

②マウスで範囲を囲み、表示オブジェクトを強調表示させます。

③ボタンのチェックをはずします。

④文字サイズを“26”として登録ボタンをクリックします。

日時
品名

切替 取消 確定

画面デザイン

品番 出庫 日時

10001 12 2012/10/10 00:00

10001 12 2012/10/10 00:00

入力フォームの定義

登録 プレビュー デザイン

ボタン表示
☒ 登録 ☒ 取消

タブ設定
追加 変更 削除

水平 垂直 文字 直線 矩形

サイズ
線幅
文字 26

カラー
前景

ボタン

品番 品番
出庫 出庫
日時 日時
品名 品名
切替 取消 確定

品番 出庫 日時
10001 12 2012/10/10

入力フォームのレイアウト

①入力フォームオブジェクトを以下のようにレイアウトします。

品番 品番 品名 品名

出庫 出庫 日時 日時

切替 取消 確定

入力フォームの定義

登録 プレビュー デザイン

ボタン表示
☒ 登録

タグ設定
追加
変更
削除

垂直 直線
☐ ボタン 矩形

サイズ
線幅
文字 26

カラー
前景
背景

順序 項目追加

③×ボタンをクリックし、デザインモードを終了します。

②列タイトル(品名)を強調表示させ、コントロールキーを押しながら左矢印キーを2回押下します。

品名 なす

3レコード 照会

CSV出力コマンドの設定

①管理メニューの“コマンド定義”を選択します。

②アクション種別を“データ出力”とし、指定内容の位置をクリックします。

③出力用コンテキストを“出庫実績_csv”として登録ボタンをクリックします。

④実行するタイミングを“終了時”とし、登録ボタンをクリックします。

コマンド定義画面 [新規]

登録 新規 複製 削除 登録

シート 出庫実績

パネル 出庫実績

説明

☒ 現在シート

実行するタイミング

ボタン位置

終了時

アクション種別 指定内容 引数

データ出力

出庫実績 CSV

登録

コマンド名

出庫実績_データ出力

OK

完成した出庫実績の入力ツール

ApstoWeb コンテキサー Ver2.2.12 [出庫実績]

ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 管理(M) 業務

出庫実績

品番 10002 品名 かぼちゃ

出庫 1 日時 2012/10/30 15:38:16

切替 取消 確定

| 品番 | 品名 | 出庫 | 日時 |
|-------|------|----|---------------------|
| 10001 | なす | 12 | 2012/10/10 00:00:00 |
| 10002 | かぼちゃ | 5 | 2012/10/11 00:00:00 |
| 10003 | きゅうり | 15 | 2012/10/12 00:00:00 |

出庫実績 在庫品目

3レコード 照会